

# 日本比較文学学会

# 第81回 全国大会

一般来聴  
歓迎

入場  
無料

日時 2019年6月15日(土)～16日(日)

会場 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

大会進行役

中村 三春 大会実行委員長・北海道大学  
村田 裕和 北海道教育大学

第1日 6月15日(土)

理事会 I 10:00～12:00 (W104教室)

12:00 受付開始

13:00 開会 (W203教室)

《開会の辞》 西 成彦 日本比較文学学会会長・立命館大学

《挨拶》 飛ヶ谷美穂子 日本比較文学学会理事・大会組織委員長

研究発表 I 13:20～14:30

■A室 (W203教室)

「待つ」行為を通してみる時間の円環構造

—ラフカディオ・ハーン「死んだ恋人」「死後の恋」と

夏目漱石「夢十夜」「第一夜」をめぐって

秦 裕緯 熊本大学(院)

『それから』における「自然の愛」の探究

—Renéの受容を手がかりにして

呉 勤文 筑波大学(院)

■B室 (W202教室)

『金閣寺』の英語翻訳の海外受容

—ナンシー・W・ロスによるイントロダクションの功罪を問う

寺浦 麻由 大阪大学(院)

大佛次郎『帰郷』英訳版序文の源流を求めて

—クノップ社の翻訳・出版現場を手がかりに

片岡 真伊 総合研究大学院大学(院)

■C室 (W308教室)

「変身」を巡る教育的意味について

—ルブラン・ド・ポーモン夫人「シェリ王子」と「美女と野獣」

田中 理紗 東北大学(博士研究員)

明治末期・少年向け未来記のリアリティ

—幸田露伴「御手製未来記」(1911)における掲載誌『実業少年』の欧米記事利用

吉田 大輔 大阪府立大学工業高専

ワークショップ 14:40～16:40

■ワークショップ I (W203教室)

女性の運動としてのアヴァンギャルド

司 会 沼野 恭子 東京外国語大学

報 告 西岡あかね 東京外国語大学

小松原由理 神奈川大学

横田さやか 東京大学

■ワークショップ II (W202教室)

青島をめぐるドイツ・日本・中国の文化的記憶

司会・報告 三宅 晶子 千葉大学

報 告 橋本 雄一 東京外国語大学

李 文哲 中国・烟台大学

朴 銀姫 中国・魯東大学

学会賞授与式 16:50～17:10 (W203教室)

総 会 17:10～17:50 (同上)

懇 親 会 18:30～20:30 (北大生協クラーク食堂)

第2日 6月16日(日)

研究発表 II 10:00～11:45

■A室 (W203教室)

現代アジアの映像作品におけるドストエフスキー『罪と罰』の翻案

越野 剛 東京大学

侵入する写真を語る

—ジェイコブ・リース『向こう側の人々の暮らし』におけるスラム表象

久保 和真 大阪大学(院)

「青猫(以後)」とパノラマ

鄭 吉詩 東京大学(院)

■B室 (W202教室)

島山千代子の英語詩とウィリアム・エンプソンの指導について

—草稿と書簡資料の調査から

高橋 由貴 福島大学

瀧口修造とロマン主義 —〈詩の想像的要素〉を巡って

秋元 裕子 北海学園大学(非常勤)

円地文子「あほうどり」と「信天翁」

—コールリッジ「老水夫」との関わりから

齊田 春菜 北海道大学(院)

■C室 (W308教室)

韓国団地小説の成立の可能性

—朴婉緒の短篇小説「似たような部屋たち」を手掛かりに

金 ジュヒョン 東京大学(院)

中国語が若かった頃 —沈從文と鍾理和

今泉 秀人 大阪大学

理事会 II 11:50～12:50 (W104教室)

シンポジウム 13:00～16:00 (W203教室)

近代日朝文化交流の再検討 —近代と伝統、都市と地方

司会・コメンテーター 波瀲 剛 九州大学

報 告 者 柳 忠熙 福岡大学

梶谷 崇 北海道科学大学

韓 然善 北海道医療大学(非常勤)

李 賢峻 小樽商科大学

《閉会の辞》 16:10 (W203教室)

岩田 和男 日本比較文学学会代表理事・愛知学院大学

問い合わせ先

日本比較文学会本部事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-8

大阪大学大学院言語文化研究科 中直一研究室 (電話06-6850-5910)